

がん患者さんとご家族のための おしゃべりサロン

都立駒込病院
サロン便り No. 81
(2018年11月発行)



2018年10月12日に第88回“おしゃべりサロン”を開催しました。体験者8名（男性1名、女性7名）家族2名（女性2名）合計10名の方が参加されました。今回は、がんの種類やステージに違いはあっても、この病気に向かい合う気持ちや辛さについての、体験者ならではの分かち合いができました。涙あり、笑いありの優しい2時間となりました。



サロンのお約束を確認して始まりました。

- ①自分のことは自分の言葉で話すこと。
 - ②他の方のお話は、善し悪しを評価しないで最後まで聴くこと。
 - ③サロンでのお話はこの場限りにすること。SNSへの投稿、録音、写真撮影は禁止。
- 以上の3点をお願いしました。

○手術後、発声のリハビリに通っている会では、70代後半の自分のことを「若い方だよ」と言われる。

○がんの治療を続ける自分の姿を見て、高校生の息子が自然とがんに興味をもち、「検診を受けようと思う」と言ってくれた。自分のありのままの姿を見せることが教育になるのだと、子どもから学んだ。

○がんになる前と全く同じようにはできないが、たとえ今までの十分の一でも、自分のことはなるべく自分でやるようにしている。

○抗がん剤治療に迷っていた時、看護外来の予約をとって、わからないことを聞いたりした。

○いつか寿命がくるとはわかっている、実際に命には期限があるということを教えてくれるのが「がん」という病気。生き方を教えてくれる。

○がんのこを受け入れるには時間がかかるのだと思う。

○小さいことで悩んでストレスをつくるより、「ケ・セラ・セラ(和訳:なるようになる)」と置いていた方がいい。

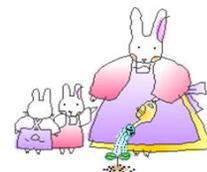
○手術をするか、抗がん剤をするかなどは自分ひとりで決めた。その分、サロンや患者会などが精神的な支えになっている。

○サロン冒頭の自己紹介の時から、「がんで悩みを抱えているのは自分だけじゃないんだ。ここは泣いてもいいんだ。」と思えた。

○今の目標は、150回続けてきたハイキングの会を再開したい。

体験や想いを分かち合った内容を、ごく一部ですがご紹介させていただきました。次回もスタッフ一同、皆様の参加を心よりお待ちしております。

次回・次々回のご案内



- 日時：毎月・第2金曜日（13時～15時）
2018年12月14日（金）
2019年 1月11日（金）
 - 場所：都立駒込病院 本館3階
患者サロン(中央エレベーター横)
 - 対象：主にがん患者さん・ご家族
どちらの医療機関に掛かっていても参加出来ます。
- * 予約はいりません / 参加費は無料です